

資料保存公開事業（予算書 A）／資料の蓄積、広報及び近現代史資料調査保存サービス

財団設立淵源より百二十余年にわたる資料の護持・補填を行い、一般の閲覧・利用に供し、法華教団及び周辺文化を含めた明治・大正期を中心とする「近現代法華資料データバンク」を構築し一般の閲覧・研究者の利用に供する。また、昨年度から取り組んでいる本多上人生誕100周年及び財団設立85年記念出版として『真訓両読法華経並び開結』平成データ版の記念出版及びデータの提供を行う。また29年結団の統一団と昭和6年設立の財団と終戦後の財団維持と昭和46年再刊『統一』と本多日生記念財団への移行の経緯を示した小冊子『財団としての統一団85年誌』を新規刊行を企画。真訓両読法華経並び開結についてはデータの打ち込み、組版がほぼ終了しているが、使用文字の問題、平楽寺の経営悪化により、日蓮宗版の刊行援助も同時並行する。

① 基礎資料整備・公開

趣旨；仏教の正しい理解を促進するため／内容；研究に必要な基礎書籍・辞典・図版資料を整備し併せて利用の案内・広報のホームページを運営し／対象；研究者及び一般の閲覧・利用に供する。

《対象者》財団ホームページ及び発行誌にて広報し、広く一般の利用・公開に供する

《実施予定》仏教系大学を中心とした研究者等への資料提供。ホームページを閲覧全国図書館よりの資料問い合わせ。日蓮仏教研究所等法華系研究機関との資料提携。財団主催による小林一郎博士の最晩年の開目・撰時・立正安国論講義の筆録をデータ化。

《事業実施に必要なもの》人員；専属担当職員（繁忙時はアルバイト・ボランティアを募集し公開業務の一部を委託）／施設；資料蓄積・整理IT機器・公開用スペース 資料開架スペース《財源》収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。

※（以下継続①～③事業に充当のため、「公益事業会計拠出金」として通年八百万円／不足の場合は預金を解約し充当）

② 備蓄資料のデータ化

趣旨；備蓄資料の劣化・散逸を防ぎ検索・閲覧の便を促進するため／内容；収蔵資料をPDFまたはTIFF形式にて画像データ化と検索リストを作成して／対象；研究者及び一般の求めに応じ公開利用の便に供する。。

《対象者》財団ホームページ及び発行誌にて広報し、広く一般の利用に供する

《実施予定》日蓮宗関係雑誌については主要誌はすでにデータ化完了、ホームページにて公開している財団発行の明治二十九年創刊『統一』誌ほか関係雑誌の総目録を閲覧した研究者からの問い合わせについては該当部分をPDF化してデータ送付のサービスを実施。また仏教関連資料のアーカイブ化に欠かせないデータ構築に際し、ユニコード8第3水準までの表示可能文字のコード一覧の作成を継続する。※本多上人生誕100年を記念して統一の本文画像公開サイトを文字認識PDFを作成できるコピーを装備したが識字能力に限界があり、総目録の情報を画像に合わせ透明化して埋め込むことを模索している

《事業実施に必要なもの》人員；専属担当職員（煩瑣作業はアルバイト・ボランティア）／施設；データ化対象書籍保存及びスキニングスペース及びPC機材、データバンク用機材・処理ソフト。《財源》収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。

③ 近現代資料調査保存サービス

趣旨；全国寺院、一般に保管されている近現代の法華系諸派の雑誌や書簡・古写真等の史料を保存し、その散逸を防ぎその価値を再認識してもらうため／内容；基本的に所蔵地に出向し資料の撮影複写と除菌・密閉殺虫し重要部画像と報告書を作成し現資料の保存処置を行い関係情報、文化の風化を防ぐ無償出向サービスを行い／対象；全国寺院並びに一般にある将来的に劣化あるいは破棄される主に近現代の第一次歴史資料を保護し保存を呼びかける。また、一般古書・競売等の市場に流失した法華系近現代文化財・資料についてもこれを保護して修復・保管し、調査書及び入手経緯を付して保存を呼びかける。

《対象者》財団ホームページ・発行誌等にて寺院・一般から依頼を募る。

《実施予定》昭和初頭期の国体論関係の雑誌の収集及び燻蒸保存。本部所蔵の大蔵経の燻蒸・整理を行い、そのノウハウを広報するとともに依頼により、出向指導する。田中智学関連流失図版・手紙類の整理。小川泰堂『天業民報』全巻の確認・簡易補修・保存指導・欠損部の割り出し（昨年から継続）。

《事業実施に必要なもの》人員；専属担当職員／施設；調査時持参ノートPC・スキャナー・カメラ・ビデオカメラ・機材搬入移動用車両・資料簡易燻蒸室・保管庫《財源》収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。

④ 機関誌『統一』発行

趣旨；仏教教義・宗学に知識・文化及び法華諸教団の現況を広報するため／内容；機関誌『統一』を編集し（完全版下入稿）年4回発行し／対象；一般からの購読を受付る。

《対象者》購読賛助会員及び一般申込み者に郵送（年間購読）。

《実施予定》1・4・7・10月の各1日年4回800部発行第3種郵便物認可を取り下げ、現在メール便に変更、実質送付数は微増の傾向。

《明治29年～昭和19年（敗戦により法華教団組織の移動があり19年後半より休刊）昭和47年復刊。現在、年4回発行》

《事業実施に必要なもの》人員；専属技能習得編集職員／施設；編集用PC機材、コピー機、編集ソフト、各種資料。

《財源》賛助購読収入・購読賛助金及び収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。

⑤ 近現代の日蓮聖人伝・評伝等の著作権・著作権者の調査・資料化

趣旨；日蓮の評伝を調査し日本における法華信仰の代表的伝道者である日蓮の伝記類がいかに語られ伝えられてきたかその出典を明らかにし伝説に対する研究・理解に資するため／内容；江戸期から幕末・明治の伝記類と日蓮主義運動が開花した大正・昭和初期の著作について調査を行い／対象；その調査報告をホームページはじめ、復刊の価値あると認識したものについて著作権者等のデータを提供し復刊

の可能性を仏教出版社等に提示する。

《対象者》一般、及び研究者・仏教系出版社

《実施予定》日蓮聖人伝各種について資料整理。特に昭和初頭期の国体論を反映した伝記記述を解析し分離する基礎資料の作成。

《事業実施に必要なもの》人員；専属編集職員／施設；PC機材、コピー機、データベースソフト。

《財源》収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。

⑥ 明治・大正・昭和の財団周囲の活動を日録形式基礎資料化

趣旨；日蓮主義運動の胎動期の明治期、開花した大正・昭和初期の文化・資料の公開に必要な基礎データを作成し、正確な資料を確実に提供するため／内容；明治期からの財団刊行物の内容を解析し主要内容を抽出／対象；一般・研究者の問い合わせに応じる。

《対象者》一般研究者

《実施予定》『統一』総目次整備公開・補充／『統一主義』総目次整備公開・補充／その他電子ブックにて稀観本を適宜公開

《事業実施に必要なもの》人員；専属編集職員／施設；PC機材、コピー機、各種ソフト・電子ブックサイト。

《財源》収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。

⑦ 創立者本多日生上人の事績顕彰及び銅像の護持

趣旨；明治期に仏教教団の近代化に多大な影響を与えた財団創立者本多日生上人の宗教・宗派間の対話交流の遺志を後世に伝え日本の精神・文化に寄与するため／内容；その記念建造物である日蓮宗総本山身延山久遠寺境内の創立者銅像に定期的に献花し銅像の状況を把握・護持し／対象；身延山参拝者の拝覧に供する。

《対象者》身延山参道にあり、本山参拝者（一般）は自由に拝覧できる。

《実施予定》毎月16日献花（依託）、清掃・参拝随時、毎年実施

《事業実施に必要なもの》人員；職員=献花依頼発注・参拝企画立案／施設；身延山久遠寺境内本多日生上人銅像

《財源》献花（年間7万円）、参拝の交通費等は支出しない。

仏教出版支援事業（予算書 **B**）／ 仏教研究・教学書などの発行支援・人材育成（資料・図版・技術提供）

[基本姿勢] 仏教とその精神文化を世に広く紹介し研究者等に発表の機会を与えるため、仏教書・研究書・論文発表に伴う企画・編集等の技術指導及び提供、図版・基礎資料の提供を行い、併せて仏教書編集技能を持った人材を育成する。

① 仏教関係の画像データの提供

趣旨；仏教関係論文及び書籍編集、また研究者の画像データ参照の便に供し仏教関係画像データが正確に用いられ良質な画像が世に紹介されるため／内容；財団保管の画像データの館内PC閲覧及び要請に応じ使用許諾範囲が許す場合は使用範囲を明示し画像データを提供し／対象；一般・研究者の利用に供する。

《対象者》機関誌及びホームページを閲覧し来館した一般・研究者・編集関係者

《実施予定》法華系寺院の図版は常時1万余点収蔵。日蓮宗布教助成会制作の『平楽寺版法華経並開・結』のデータ作成。

《事業実施に必要なもの》人員；専属編集職員／施設；図版資料閲覧希望者の閲覧スペース、PC機材、コピー機。

《財源》収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。

② 近現代史・法華系資料の館内PC及びFTPサーバーによる無償閲覧

趣旨；仏教関連研究、近現代史歴史研究に寄与するため／内容；財団備蓄資料・解析資料を館内データバンク及びサーバーにアクセス許可を行い／対象；広く一般に公開する。

《対象者》研究者・一般、ホームページ閲覧資料請求者

《実施予定》館内資料バンクは平成20年から設置。館内無線LANについては同期カードを無償貸出、必要に応じて資料複写のカラーコピー機および複写のためのCDRなど原則無料。ホームページ開設時より現在に至るまでメールにての問い合わせに応じ、大きなデータに関してはFTPサーバーにUPしてアクセスを許可しダウンロード出来るよう機器の設置、サービスを継続する。

《事業実施に必要なもの》人員；専属編集職員／施設；閲覧スペース、PC機材、FTPサーバー、コピー機。

《財源》収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。

③ 仏教出版・資料整理の人材育成等の助成

趣旨；仏教とその精神文化を世に広く紹介し研究者等の発表の技術的負担を軽減するため／内容；仏教書・研究書・論文発表に伴う企画・編集等の基本データの提供と技術指導を行い／対象；仏教書発行希望者及び研究者に無償提供する。

《対象者》研究者及びホームページ掲載の「仏教出版助成」応募者

《実施予定》桐谷征一師の中国石刻経研究の成果を出版可能な形式に再構築、本年度初頭の刊行に向け流通環境等の整備等助成。

《事業実施に必要なもの》人員；専属編集職員／施設；編集・調整用会議室 編PC機材、コピー機、編集ソフト。

《財源》収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。不足の場合は預金を解約し充当。

④ 講演会・講習会の開催

趣旨；仏教教義及び日蓮教学の学習及び発表者の資質向上のため／内容；本部等に於ける講演・懇談会、本化ネットワークから発展した専門講座を年間8講座を開く法華コモンズ仏教学林等門流を越えた交流学習会への講師の紹介・会場の運営指導い

対象；統一購読者／一般（制限は特に設けない）

《対象者》機関誌購読者及び一般（原則無料）

《実施予定》記念講習会は3月16日。本化ネットから法華 commons に発展した諸講座の運営助成（法人化についてもガイド）

《事業実施に必要なもの》人員；担当職員（開催・運営事務）／施設；開催会場 マイク・映写機・コピー機・茶菓飲料等雑費。

《財源》公益事業会計から拠出。

⑤財団著作権・著作権所有の既刊本データの提供／本多上人生誕100周年及び財団設立85年記念出版

趣旨；明治・大正期の日蓮主義運動を中心とした著作を世に広く紹介し歴史研究と近現代の基礎資料に供するため／内容；財団著作権・著作権所有の現在入手困難な既刊本データを適宜作成。本多上人生誕 100 周年及び財団設立 85 年記念出版として『真訓両読法華経並び開結』平成データ版の記念刊行及びデータの提供及び財団 85 年誌の執筆刊行／対象；研究者及び復刻刊行希望者に提供する

《対象者》主に近現代史研究者（原則無償で提供）

《実施予定》本多日生上人著作のスキヤニング及び電子ブックサイト無償公開（通常1案件1月間公開）。

《事業実施に必要なもの》人員；専属編集職員／施設；編集 PC 機材設備、コピー機、編集ソフト。

《財源》収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。

研究交流助成事業（予算書 C）／法華系の諸派の研究会・学習会の助成・交流等及び海外仏教徒の支援

〔基本姿勢〕仏教徒の交流・法華系各宗派の交流支援及び海外の仏教徒への現地語経典の作成提供を行い、日本の仏教文化の発展と国際交流に資するため次の事業を行う。現今ミャンマーの仏教徒・イスラム少数派間の紛争が勃発、対ミャンマー支援は見送り

①法華系各宗派の情報・データ等の提供・提携

趣旨；明治・大正期の日蓮主義運動で各派合同の機運があるも現在再び分派している法華系教団間の研究・学習等における連携と研究分野の資質向上のため／内容；任意開催・運営が行われている法華系諸学習会・研究会に協力し必要に応じて活動助成を行い／対象；法華各宗派ひいては日本の仏教界の交流促進、信徒・檀信徒間の交流を促進する。

《対象者》法華宗各派及びその信徒・研究者。研究者や任意団体などは活動・発表等の内容に鑑み当方から助成を提案する。

《実施予定》『昭和定本日蓮聖人遺文』収録遺文の系年の移動にかかわる各門下所蔵・指摘事項の情報、未収録遺文及び断簡類の情報を整理し、改訂遺文の概要の呈示のための基礎資料データベースの作成。法華 commons の運営事務手配

《事業実施に必要なもの》人員；専属職員担当1名（会議参加・交流）／臨時雇用等；臨時雇用（※イベント開催時1～3名）施設；会議参加プレゼン及び学生貸出用ノート PC・映写機器 来館・会議応接公開用來館者・会議スペース

《財源》収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。不足の場合は預金を解約し充当。

②海外仏教徒用教材・経典の製作・提供

趣旨；海外仏教徒への活動支援のため／内容；現地語翻訳法華経の製作及び無料提供継続／対象；海外仏教徒との交流促進に寄与する。

《対象》海外仏教徒及び支援団体

《実施予定》法華経英語漢字入り Glossary の作成継続。クメール語（カンボジア）法華経の改訂継続。桐谷先生所蔵拓本外字データ作成。

《事業実施に必要なもの》人員；専属担当職員（会議参加・交流・翻訳入力・業者依頼作業管理）／臨時雇用等；臨時雇用（現地語翻訳テキスト入力・実動時1～2名）／施設；PC（翻訳言語表示・編集用）各種編集ソフト 来館・応接用来館者スペース

《財源》収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。不足の場合は預金を解約し充当。

③近現代史・宗教社会学等の研究協力

趣旨；来訪閲覧する主に近現代史・宗教社会学・宗学（日蓮教学）研究者の研究支援のため／内容；学習会等への参加調整・紹介、資料所蔵者への紹介、資料入手代行を行い／対象；来館者及び資料問いあわせの一般研究者。本年度助成予定6件

《実施予定》来館・問い合わせに応じて前年通り実施。本年は国体論関係の資料解析と提供を実施。

《事業実施に必要なもの》人員；専属職員担当1名（会議参加・交流）／臨時雇用等；臨時雇用（※イベント開催時1～3名）※財団企画委員含む／施設；会議参加プレゼン及び学生貸出用ノート PC・映写機器 来館・会議応接公開用來館者・会議スペース

《財源》収益事業部門（旧特別会計から公益事業会計）から拠出。

所有建物の管理運営及び活用事業（予算書 E）／収益事業部門 ※予算書（D）欄は共通項目

〔基本姿勢〕充実した公益目的活動費用の造成。財団維持・運営の収入の90%を担う

①建物の維持管理・保守委託；現在はテナント収入を維持し、公益目的事業活動に供することが不可欠。将来的にはテナント階集中管理・通報・錠保管の責任の無い別フロアを本部を含め公益活動に供し、記念館・資料館・会場等として公開できるよう資金の造成を継続。

※ TID ビル 1～6 階は財団の公益目的事業の運営費用を中心に、管理事務・減価償却費等に充当する為テナント貸しとして運用し、総合警備・保安集中装置を7階事務所に集中し保安業者と共同してテナントフロアを含めた建物全体の責任ある保守・運営を行って健全な公益目的事業遂行の資金を維持し、支出計画完了時に土地・建物及び旧基本金中 2000 万円を維持し、その後の活動に資すことを目指す。

頒布用出版物の刊行・編集受託（予算書 F）／収益事業部門

〔基本姿勢〕広く社会に読まれる仏教書の出版販売及び受注／〔始動準備期間〕公益目的支出計画終了後に実質始動

①財団著作権帰属の原稿を基本とした出版及び設立目的に添った出版物の製作・頒布を継続。（現在は既刊本の再版・改訂中心）

②（B）の出版助成事業以外で謝礼を伴って依頼を受け行う作業や付随的に収益のある編集作業等（公益目的事業遂行期間中は抑制）。